



〔農林水産部〕

「HACCPに関する説明会」を開催しました！

No.11

平成31年3月12日、沖縄総合事務局10階会議室において、HACCP認証取得による食品の輸出・販路拡大に向けた「HACCPに関する説明会」を開催しました。

説明会では、日本発の食品安全管理規格である「JFS規格」について、運営機関の一般財団法人食品安全マネジメント協会の西谷理事長から御説明いただくとともに、実際に食品の輸出に携わっている株式会社沖縄物産企業連合の渡久地取締役から、相手国や相手先から求められるHACCPの実情などについてお話をいただきました。



説明会の様子

また、HACCPの国際的標準規格である「JFS規格」の認証を県内で初めて取得した株式会社伊藤園沖縄名護工場の永田部長から、取得までの取組についてお話いただくとともに、県内の食品事業者に関する助言などを行っている株式会社クロックワークの大兼久様から、HACCPに基づく現場管理体制の構築について講演していただきました。

説明会には、県内の食品事業者を中心に約40名が参加し、HACCP認証取得による自社製品の輸出強化などに向けて、講師の方々の話に熱心に耳を傾けていました。

説明会には、県内の食品事業者を中心に約40名が参加し、HACCP認証取得による自社製品の輸出強化などに向けて、講師の方々の話に熱心に耳を傾けていました。



活発に行われた質疑応答



西谷理事長による説明

農林水産部 食料産業課
☎098-866-1673



〔経済産業部〕

沖繩の未来×SDGs 〜沖繩の持続的発展に向けて〜

No.12

SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された先進国を含む国際社会全体の開発目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと各々の目標を達成するための169のターゲットから構成されており、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを掲げています。



SDGsロゴ

政府としては、総理大臣を本部長とした「SDGs推進本部」を設置するとともに、行政、民間セクター、NGO・NPO、有識者、国際機関、各種団体などを含む幅広いステークホルダーによって構成される「SDGs推進円卓会議」における対話を経て、「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す」ことをビジョンに掲げた「SDGs実施指針」を決定しています。

また、経団連では「企業行動憲章」にSDGsの概念を含めるなど、急速にSDGsへの認識が高まるとともに、一部の企業ではSDGsを経営戦略に導入するなど具体的な行動が始まっています。

SDGsシンポジウム「沖繩の未来×SDGs〜沖繩の持続的発展に向けて〜」の開催

当局経済産業部では、県内のSDGsについての理解を深め、

SDGs達成を通じた地域課題の解決や企業の競争力強化を図ることを目的として、SDGsシンポジウム「沖繩の未来×SDGs」沖繩の持続的発展に向けて」を平成31年3月5日に沖繩県立博物館・美術館にて開催いたしました。県内自治体職員や金融機関担当者、民間企業の代表者など、約130名が参加し、沖繩におけるSDGsの推進についての有識者からの講演、取組事例紹介、パネルディスカッションを行いました。

始めに、沖繩でSDGsの取組を推進する意義について当局経済産業部長 寺家 克昌から説明を行った後、慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授 蟹江 憲史氏から「SDGs達成を通じた地域課題解決と地域経済の活性化」と題して基調講演をいただきました。蟹江教授からは「SDGsの17の目標全てに取り組むことは難しいが、SDGsに取り組むための入り口が数多くあると思えば良く、取り組めることからスタートすると良い」などのコメントがあり、様々な取組がSDGsに結びつく可能性についてお話がありました。

また、「地域企業にとってのSDGs」その意義と効果」と題して取組事例の紹介を行っていた株式会社大川印刷 代表取締役社長 大川 哲郎氏は「SDGsを『考える人』ではなく『行動する人』、『SDGsアクティビスト』にならないといけない」と会場の参加者に実際に行動をおこす重要性を呼びかけました。



基調講演を行う慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 蟹江 憲史 教授



取組事例紹介を行う株式会社大川印刷 大川 哲郎 代表取締役社長

パネルディスカッションでは、国立大学法人琉球大学地域連携推進機構 特命准教授 宮里 大八氏のコーディネートのもと、株式会社OTSサービズ経営研究所 代表取締役社長 栩野 浩氏、ジーエーイー合同会社 代表取締役社長 呉屋 由希乃氏、株式会社トリム 代表取締役社長 坪井 巖氏、国頭村役場企画商工観光課長 大城 靖氏に登壇いただき、「沖繩におけるSDGs推進のための現状と課題」をテーマとして、研究機関、企業、自治体の各々の立場から

取組や、今後の課題について報告が行われました。また、会場参加者からは自社への導入手法や評価手法などの様々な観点から質問が行われ、活発な意見交換を行いました。

当局においては、今後も県内自治体や企業などが行うSDGsの取組支援を通して、沖繩の地域課題の解決及び県内企業の競争力強化に取り組んでまいります。



パネルディスカッションの様子

経済産業部政策課
☎098-866-1726